

武内良高氏収集文書概要

- 1: 文書群番号 073003
- 2: 文書群名 武内良高氏収集文書
- 3: 出所 武内良高氏
- 4: 家業・役職等 郷土史研究家
- 5: 地名 -
- 6: 行政区分 -
- 7: 歴史 武内良高氏は兵庫史学会の会員。研究成果（研究ノート）は「徳川時代撰津国武庫郡兔原郡の領知変遷」（『兵庫史学』創刊号 1954年）、「徳川時代撰津国八部郡の領知変遷」（『兵庫史学』2 1954年）がある。武内氏の昭和30年（1955）頃の肩書きは瓦木村誌編さん者。西宮市域の『瓦木村誌』は27年の発行。『瓦木村誌』の巻末には武内良高氏が15年の起稿以来、史料の蒐集・研究に当たっていたが、完成間近の24年に事情により退任したと記載がある。
- 8: 伝来 本文書群は、史料群の構造・内容から武内良高氏の収集史料群と推定できる。
昭和48年（1973）9月、武内たか子氏より借用。平成16年12月に整理・目録作成を完了し、所蔵史料群として手続きを行なった。
- 9: 史料入手先 武内たか子氏（原蔵者夫人）
- 10: 点数 11点（目録件数11件）
- 11: 年代 元文2年（1737）～昭和
- 12: 構造と内容 本文書群は尼崎領分村々入組絵図3点・藩治職制・代替わりにつき御条目（近代以降の写し）・金銀引替関係といった尼崎藩関係史料と、作成主体が不明の御家中儉約の定め（尼崎藩関係か）、今川状、武内氏自筆ノートから構成される。金銀引替関係史料3点中1点は江戸で触れられたものである。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本（ただし一部閲覧不可）
- 15: 作成者 近藤 浩二